

生徒Dさん：県庁で仕事をするときに、一番大変なことは何ですか。

知事：大変なことはいろいろとありますが、一つのものごとについて、いろいろな意見が出てきます。この人に聞いたらこういう意見、この人に聞いたらこういう意見だった、じゃあどうしてそういう意見が出てくるかというその背景が違います。今のことを考えてそう思っている人もいれば、先々のことを考えてそう思っている人もいるし、自分の地域のことを考えてそう思っている人もいれば、高知県全部のことを考えてそういう意見を言う人もいます。一つの課題についてそれぞれ背景の違ういろいろな意見が出てきます。その中でこれはこの道でやっていくと1つ決めないといけないときがあります。それは一部の意見の方には明らかに反対意見になってしまうかもしれませんが、多くの皆さんの賛同を得られるものなのかどうか、そのあたりも見極めながら決めていかないといけません。何よりも今のことも大事ですが、先々の高知県にとっていいことかどうかを見極めて決断していかないといけません。ものごとを最後に決断していくときが一番大変なときです。いろいろな人がおっしゃっている、いろいろな意見があるのに対して、それぞれの意見の後ろにある理由は何なのか、データはどういうことなのかを全部調べて、それを最後にこの意見についてはこういう良いところ、悪いところがありますというのを整理をして、ものごとを決めていきます。いろいろな意見の中からもんごとを整理し、最後に決めていくことがやはり大変です。決めたことが正しかったかどうかは、いずれ結果が出てくることであり、そこを決めていくのが大変です。